

町長就任のごあいさつ

山都町長 梅田 穰

山都町長に就任しました梅田穰でございます。

超高齢化・急速な人口減少が続く、山都町民の皆様が生まれ育ったこの町で豊かな人生が送れる町づくりを目指します。最優先課題として、昨年発生しました4月の熊本地震・6月の豪雨災害による被害の復旧・復興に向けて全力で取り組んで参ります。

特に仮設住宅やみなし仮設住宅等に避難しておられる方々の生活支援、相談体制を整えて参ります。

山都町の大動脈であります国道445号、県道3路線、町道1路線の主要道路の早期開通、農道・水路・農地復旧等、国や県と連携を密にして取り組んで参ります。

3月6日の初登庁、9日からの3月定例議会等、日程に追われる毎日を過ごしています。

その中で、御所へき地保育所、浜町第二保育園、浜町保育園の閉所・閉園式がありました。地域の方々、卒園生、関係者の皆様の長年に亘る協力に感謝しつつも、寂しい思いに

心が痛みました。少子化の現状を実感した出来事でありました。

27日には、清和文楽の里協会のこれまでの活動が高く評価され、西日本文化賞を受賞されました。永きに亘り清和文楽を守り育ててこられた地元の方々、関係者の方々に深く敬意を表しますとともに今後とも山都町の伝統文化の活動拠点として頑張ってほしいと期待します。その後、文楽の鑑賞をし、熊本県立劇場館長姜尚中氏の「山の都の暮らしと文化」と題した講演の中で、伝統技術の素晴らしさを讃えられ「野にあるこの様な文楽を是非、子どもたちに観てほしいし、伝承文化は人を育てる」と力説をされました。

今後、是非、山都町の子どものみならず全国の子どもたちに観てほしいと願って、発信していきたいと思っています。

31日には永年本町職員として活躍・貢献していただきました15名の皆様の退任式を行いました。永年の御苦労に深く感謝し、今後の御健勝をお祈り申し上げます

取り組みたいこと

1. 災害からの復旧・復興

まず一番に取り組むべきことは、災害からの復旧・復興です。道路、橋、水道などインフラ施設をはじめ、農地、農林業施設などの産業基盤、観光の目玉でもある通潤橋の修復など、町民の皆さまに一日でも早く元の暮らしや仕事に戻っていただけるようスピード感を持って取り組んで参ります。

2. 基幹産業である農林業の振興

準高冷地の特性を活かした、安心・安全で美味しい本町農産物のブランド化や販路拡大を推進し、収益向上につながる農業づくりを目指します。

また、担い手の高齢化が進む中、農地の集積や集落営農の推進につきましても積極的に取り組んで参ります。

広大な森林面積を有する林業につきましては、林道・作業道整備等による生産性の向上を図るとともに、除・間伐等の推進による森林の健全な育成を支援します。

農業団体で培った経験や、国・県との人脈も活かしながら、農林業の振興に力を注いで参ります。

3. 商工・観光の振興

今年度中に町内全域で整備が完了する光ネットの敷設や、2年後に控えた九州中央自動車道の北中島インターの供用開始、さらにはその数年後に予定されている矢部インター

ター開設を千載一遇のチャンスととらえ、店舗改修や魅力ある商品開発の支援、町の経済浮揚に取り組んで参ります。

4. 人口減少対策

子育て環境の充実や住民の健康増進、高齢者支援など町民の暮らしの質を高めるとともに、新規就農支援や起業化支援、住環境の整備、九州でも屈指といわれる自然や豊かな歴史と文化を活かした魅力ある山の都づくりにより、移住・定住を促進し、急激な人口減少にブレーキをかけるよう取り組んで参ります。

山都町長プロフィール

経歴

昭和41年3月 熊本県立矢部高等学校卒業
平成5年5月 矢部町農業協同組合理事
平成10年5月 熊本矢部町農業共同組合代表理事常務

平成17年6月 上益城農業協同組合代表理事組合長

平成23年6月 熊本県農業協同組合中央会副会長

平成26年6月30日 熊本県農業協同組合中央会会長

平成28年12月31日 同右 退職

平成29年3月6日 山都町長 就任

座右の銘 「感謝」